

# 文化財の保護

## 国の登録有形文化財

歴史的建造物を残していく制度として登録有形文化財制度があります。この制度は建てられてから50年を経過した建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録するものです。登録された後もこれまで通りに住んだり店舗として使用していくことが出来ます。昨年は福西本店(中町)、竹藤(中央一丁目)、仙峡閣(大戸町)の3件が新たに登録されました。これま



福西本店(中町)



仙峡閣(大戸町芦ノ牧)



竹藤(中央一丁目)

で向瀧旅館、栄町教会、末廣酒造嘉永蔵などが登録されていますが、これによって9件(建築物28棟、塀などの工作物4基)となりました。今回登録された建物は、いずれも店舗や旅館等に利用されていますので、ぜひご覧ください。

## 御薬園の整備

御薬園では、庭園が造られた江戸期の姿に戻すために、整備を行っています。昨年は、御茶屋御殿南側にある西池東岸の修復を行いました。



修復が完了した西池の護岸

西池は、昭和28年以前は埋められており、一般公開に先立ち掘りあげられたため、本来の護岸の様子が不明でした。今回の修復作業により当時の護岸が園路側に広がっていたことがわかったため、石を積み直しました。きれいに修復され、ほぼ築造当時の姿を取り戻した西池をどうぞご覧ください。

## 日新館天文台跡保存会が設立されました!

昨年3月、市史跡「天文台跡」が日本天文学会により日本天文遺産に認定されました。

認定を機に、地元の米代一丁目町内会や山鹿町町内会を中心に保存会設立への機運が高まり、昨年11月に、「日新館天文台跡保存会」が設立されました。米代一丁目町内会では、以前から天文台跡の清掃や草刈りなどを行っており、保存会ではこれらの活動に加え、啓発活動など天文台



日本天文遺産に認定された天文台跡

跡を守り活かすための取り組みが行われていきます。今回、保存会会長の佐藤さんにお話を伺いました。

## ～天文台跡への想い～

天文台跡は、昔より地元の宝として、また、心のよりどころとして存在し守られてきました。

この天文台跡が、日本天文遺産に認定された事は、地元町内としては大変光栄な事と、皆、喜んでおります。

しかしながら、住宅地の中で民家と接しており、観光場所としては全く整備されていないのが現状です。

当保存会としては、この天文台跡を会津藩校日新館の唯一残っている遺構としても捉え、これからの整備・保存に、今まで守ってきた地元として、積極的に参加し活動して参りたいと考えております。

日新館天文台跡保存会  
会長 佐藤 武司

# あいづわかまつ 文化財だより

発行  
会津若松市教育委員会  
編集  
会津若松市教育委員会文化課  
〒965-0871 会津若松市栄町5番17号  
TEL 0242-39-1305 FAX 0242-39-1272  
HP <https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/bunya/bunkazai/>

—第27号—  
令和2年(2020)4月1日

## 火災から文化財を守れ! ~第66回文化財防火デー~



昭和24年(一九四九)1月26日に法隆寺金堂の壁画が焼損したことを教訓に文化財を火災等から守り、後世に残すために、毎年1月26日が「文化財防火デー」と定められました。昨年4月のフランスのノートルダム寺院における大火災や、10月に発生した沖縄県那覇市の首里城の火災を受け、文化財の防火対策の推進や防災意識の高まりが求められています。市では、毎年、文化財防火デーにあわせて、防火査察や火災防ぎよ訓練を行っています。

### ●防火査察

1月24日に会津若松消防署と合同で、旧滝沢本陣やさざえ堂などの国・県指定の文化財建造物など9施設を対象に、防火設備の管理状況の確認や、防火・防災の指導を行いました。今回の査察では、各施設において、特に指摘事項もなく、防火設備が適正に管理されていることを確認しました。

### ●火災防ぎよ訓練

1月26日に、東山町地内にある会津武家屋敷内の県指定重要文化財「旧中畑陣屋」において訓練が実施されました。常務員控室からの出火により、「旧中畑陣屋」への延焼の恐れありとの想定で、会津武家屋敷職員による通報・初期消火訓練、会津若松市消防団第1・3・11・13分団、会津若松消防署による放水訓練など、本番さながらの訓練が行われました。

文化財は、かけがえのない「地域の宝」であり、後世に残していくには、文化財所有者はもちろんのこと地域全体での防災意識の高まりが重要となりますので、ご協力をお願いします。

### ★旧中畑陣屋とは?

中畑陣屋は、西白河郡矢吹町中畑を領していた旗本松平家の代官陣屋として建築されたもので、昭和50年に会津武家屋敷内に移築復元されました。往時の姿をとどめる陣屋は全国的にも貴重な建築物です。

# 埋蔵文化財の発掘と記録保存

## 武家屋敷跡の発掘調査① (城前団地)

城前団地の発掘調査は、団地の建て替えにあわせて平成25年度から順次実施しており、工事により遺跡が消滅してしまう部分について、事前に記録を残すために行っています。

今回の調査地は、郭内の徒之町口郭門の近くにあたり、調査区が細長いため4軒の武家屋敷跡にまたがっていました。

調査の結果、江戸時代の池の跡や陶磁器などの生活



長方形に石を組んだ遺構が見つかりました

道具が出土しました。写真の石組みは、長方形に石が並べられており、同様の遺構が武家屋敷跡の発掘調査でよく見つかります。このような遺構は、貯蔵用の穴か花壇として使用されていたと考えられます。

## 武家屋敷跡の発掘調査② (新横町)

竹田総合病院前を東西に走る都市計画道路藤室鍛冶屋敷線の整備に伴い、新横町の発掘調査を行いました。

調査地は、幕末に禄高二〇〇石の筒井善太夫邸があったところで、郭内と郭外を区画する外濠に設けられた16の郭門の一つ、融通寺町口の西側にあたります。

調査範囲は筒井邸の北端部で、江戸時代には北に土塁と外濠が巡っていました。明治時代になると、土塁は壊され外濠は埋められました。調査地も明治時代以降、開発により深くまで掘

削されたため、江戸時代の遺構は少なかったものの、



織部焼の向付(左)と志野焼の皿(右)

建物の礎石や井戸跡などが発見されました。

また、当時の生活をうかがうことが出来る陶磁器などが多く出土し、日用品である碗皿類などに混じり、織部焼の向付や志野焼の皿などの貴重品も出土しました。

## 鶏林遺跡の発掘調査

石室町地内の民間開発に伴い発掘調査を行いました。

調査地は、会津盆地南東端の丘陵末端部で、鬼渡神社の東側に位置します。調査では、竪穴住居跡や

# 文化財の活用

## 赤井谷地散策会

湊町にある赤井谷地は、約2万年前の水河期に自生していた北方系の植物が残っている国内では珍しい陸化型の高層湿原(約2万年前頃に猪苗代湖がほぼ現在の水位まで下がり沼地となり、更に植物が腐った泥炭層が3〜4m堆積して湿地化した)で、学術的にも価値が高いため昭和3年(一九二八)に国の天然記念物に指定されています。

長年調査に携わっている日本大学の笹田准教授をお



空から見た赤井谷地



笹田准教授の説明を聞く参加者

迎えして、この貴重な赤井谷地を体感していただく散策会を、昨年10月20日に開催しました。

散策会に参加した25名のみなさんは、一面を覆っている苔のカーペットを観察しながら、湿原の重要性や保護・保全について一層理解を深めたようです。

今年の散策会については、今後、市政だよりやホームページにてお知らせします。なお、赤井谷地は、湿原の保護のため、普段は立ち入り禁止となっておりますのでご注意ください。

## 院内御廟歴史散策会

東山町院内にある院内御廟は、2代から9代の歴代会津藩主とその家族が眠る墓所で、15ヘクタールの広大な敷地が国の史跡に指定されています。

昨年10月26日に、御廟の見学ポイントや会津藩の歴史を学びながら散策する歴史散策会を開催しました。散策会は毎年開催していますので、御廟について詳しく学びたい方は、ぜひご参加ください。

なお、院内御廟は自由に散策することができませんが、周辺にて熊が目撃されていますので、ご注意ください。



散策会の様子

また、月に1〜2回程度、歴史文化講座を開催しています。屋外を歩きながら歴史を学ぶ講座や、歴史・文化の講義、ワークショップなども行っています。市政だよりやホームページでのご案内がありますので、興味のある講座がございましたら、お気軽にご参加ください。

## 墓料遺跡の遺物整理

一箕町の墓料遺跡は、弥



奈良時代の土器

掘立柱建物跡などが発見され、奈良時代、平安時代の土器が大量に出土しました。なかでも、全体を丁寧に見がき、真つ黒に焼きあげた奈良時代の土器は、普段の生活で使用するものとは異なり、特別な用途を想起させます。

生時代前期の再葬墓が多数発見されたことで有名な遺跡です。再葬墓とは、亡くなった人を一度埋葬して骨にした後、土器に骨を納めて再び埋葬するお墓の作り方です。墓料遺跡では、これまで複数回の調査が行われており、過去に出土した膨大な遺物や写真などの資料から新たにわかった事を報告するための整理作業を開始しました。

今年も引き続き整理作業を行ってまいります。



復元された土器

## まなべこの活動

歴史資料センターまなべこでは、約半年に一度常設展の展示替えを行っています。令和元年度の前半は「城下の観音信仰と旅」、後半は「会津若松市市政120周年」をテーマとした展示を開催しました。



解説を聞きながらお城の構造を学びます

## 郷土研究奨励事業

会津地方に関する郷土の調査、研究等を行った作品を毎年募集し、郷土研究に取り組む方の励みになるよう、優秀な作品には奨励金を贈呈しています。

令和元年度は、奨励賞1作品、準奨励賞6作品、努力賞12作品を奨励しました。歴史資料センター「まなべこ」や会津図書館で見ることが出来ますので、ぜひご覧ください。

今年の募集要項については、今後、市政だよりやホームページにてお知らせします。



受賞者の皆さん